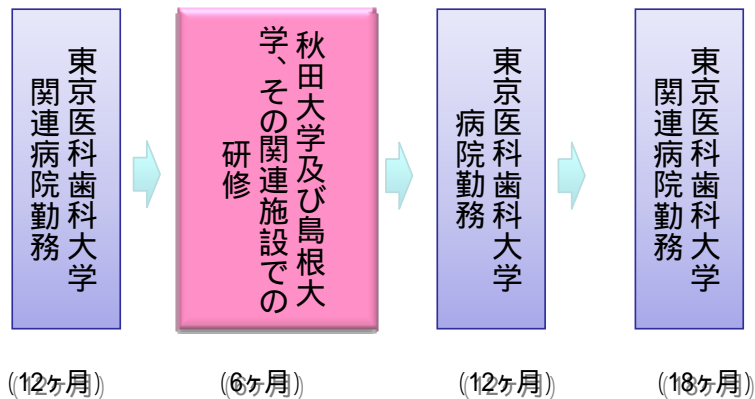


コース： 広域連携血液内科専門医コース

血液内科医、腫瘍内科医としての経験を積み、血液専門医及びがん治療専門医を取得することが可能

<コース例> 希望に対応したフレキシブルなコース設定が可能です



東京医科歯科大学血液内科関連病院

都立駒込病院 造血幹細胞移植の症例数が日本有数
武蔵野日赤病院 地域の血液内科拠点病院
横浜みなと赤十字病院 地域の血液内科拠点病院
横須賀共済病院 病院の特色を記載してください
青梅市立総合病院
埼玉県立癌センター
東芝病院

取得可能な専門医

血液学会専門医¹⁾
日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医²⁾
日本がん治療認定医機構
認定がん治療専門医³⁾

日本血液学会認定血液専門医

- 1) 日本内科学会認定医または日本小児科学会専門医(認定医)である者
- 2) 卒後6年以上の臨床研修を必要とし、このうち3年以上日本血液学会が認定した研修施設において臨床血液学の研修を行った者
- 3) 申請時に継続して3年以上、(新)日本血液学会(旧血液学会、及び、旧臨床血液学会)の会員である者
- 4) 臨床血液学に関係した内容で、筆頭者として学会発表または論文が2つ以上ある者

日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医

- 1) 申請時点で2年以上継続して学会員であること。
- 2) 申請時において5年以上がん治療に関する研究活動を行っていること、およびがん治療に関する十分な業績があること
- 3) 研修認定施設において本学会所定の研修カリキュラムに従い、2年以上臨床研究を行いこれを修了した者。
- 4) 各科の基本となる学会の認定医あるいは専門医の資格を有していること。

日本がん治療認定医機構認定がん治療専門医

- 1) 日本国の医師免許証を有すること。
- 2) 認定医制度規則施行細則第11条による所属する**基本領域の学会**の認定医又は専門医の資格を有すること。
- 3) **機構の定める認定研修施設**において、**機構の定めるがん治療研修**を終了し、指導責任者(当機構暫定教育医または認定医)による証明がなされていること。